

＜今日の説教のポイント 出エジプト記 20章 12節＞

第五戒「あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。」

1 「父母を敬え」だけではなく、その理由が付いている点に注目。

「**あなたの父母を敬え**」。これを聞くと、日本でも昔から教えられている、自分を生んでくれた親を大事にするようにと教える教えと同じだと思ってしまうのでしょうか。しかし、十戒の中で語られていることは違うのです。ここには父母を敬う理由として、「**そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる**」と言われています。つまり、イスラエルにこの後主なる神様から土地が与えられることが考えられているのであり、実は、自分の直接の親である父母のことだけでなく、親の親のそのまた親のと遡って辿り着く、私たちの最初の生みの親である神様のことが考えられているのです。このことはレビ記 19章 3節で、「父と母とを敬いなさい。わたしの安息日を守りなさい。わたしはあなたたちの神、主である」と記されているのを見るとよく分かります。父母を敬うことが安息日を守ること、つまり神様を大事にすることと直接つなげて言われているのです。

2 イエス様の教えと矛盾している？ 否。そこに見出せる恵みあり。

しかし、イエス様は、「**私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくない。私よりも息子や娘を愛する者も、私にふさわしくない**」（マタイ 10:37）と言われました。が、同時に、十字架の上で最後に自分の母マリアのことを気にかけて、弟子に託されました（ヨハネ 19:26-27）。これは矛盾しているのではないのでしょうか。そうではありません。むしろ、私たちがイエス・キリストを通して、イスラエル人をエジプトから救い出して下さった神様を知り、その神様とキリストを信じて生きるときに、私たちは初めて正しく父母を敬い、息子や娘も正しく愛することができるようになるのです。逆の言い方をすると、親であっても、聖書の神様のような愛からほど遠い仕方でも自分の子どもを虐待したり、自己本位な愛し方をしたりする場合があります。そのような中に置かれた子こそ、キリストの神様が自分の真の親であることを思って、恨まず、怒らず、むしろ信仰の上では自分が神様の愛を教える親の立場にあるのだと思って親に接していけばいいのです。私自身が聖書から初めて知らされ、道が開けていく経験ができた大きな恵みの一つです。